

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 20 日 (2020.2.20)

【公表番号】特表 2019-508139 (P2019-508139A)

【公表日】平成 31 年 3 月 28 日 (2019.3.28)

【年通号数】公開・登録公報 2019-012

【出願番号】特願 2018-545429 (P2018-545429)

【国際特許分類】

A 6 1 M 27/00 (2006.01)

A 6 1 F 13/02 (2006.01)

A 6 1 F 13/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 27/00

A 6 1 F 13/02 3 1 0 J

A 6 1 F 13/02 3 1 0 D

A 6 1 F 13/02 A

A 6 1 F 13/02 3 1 0 Z

A 6 1 F 13/00 3 0 1 S

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 9 日 (2020.1.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

医療用途のためのドレープにおいて、前記ドレープが

第 1 の側面と第 2 の側面とを有するフィルム層と、

前記フィルム層の前記第 1 の側面に結合された接着剤層であって、前記ドレープの適用前の第 1 の接着強度と、前記ドレープに加えられた力に反応する第 2 の接着強度と、可視光スペクトル内の電磁放射線への前記接着剤層の曝露後の第 3 の接着強度とを有する前記接着剤層と、

前記フィルム層の前記第 2 の側面に剥離可能に結合されるとともに、前記可視光スペクトル内の前記電磁放射線の少なくとも一部分を遮断するように構成されたバリア層とを備える、ドレープ。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のドレープにおいて、前記接着剤層がアクリル系接着剤を含むことを特徴とするドレープ。

【請求項 3】

請求項 1 に記載のドレープにおいて、前記接着剤層がポリウレタン系接着剤を含むことを特徴とするドレープ。

【請求項 4】

請求項 1 に記載のドレープにおいて、前記接着剤層が流動性接着剤を含むことを特徴とするドレープ。

【請求項 5】

請求項 1 に記載のドレープにおいて、前記接着剤層が隙間充填接着剤を含むことを特徴とするドレープ。

**【請求項 6】**

請求項 1 に記載のドレープにおいて、前記接着剤層が感圧接着剤を含むことを特徴とするドレープ。

**【請求項 7】**

請求項 1 に記載のドレープにおいて、前記力が前記接着剤層の粘度および流れを変化させることを特徴とするドレープ。

**【請求項 8】**

請求項 1 に記載のドレープにおいて、前記接着剤層中に配置された活性剤を更に含み、前記力に反応して、前記活性剤が、前記接着剤層を前記第 1 の接着強度から前記第 2 の接着強度に移行させるように構成されることを特徴とするドレープ。

**【請求項 9】**

請求項 1 に記載のドレープにおいて、前記接着剤層中に配置された粘着付与剤を更に含むことを特徴とするドレープ。

**【請求項 10】**

請求項 1 に記載のドレープにおいて、前記接着剤層中に配置された低表面張力添加剤を更に含むことを特徴とするドレープ。

**【請求項 11】**

請求項 1 に記載のドレープにおいて、前記接着剤層中に配置されたマイクロカプセルであって、粘着付与剤を含有するとともに、前記力に反応して破裂して前記粘着付与剤を放出するように構成される前記マイクロカプセルを更に含むことを特徴とするドレープ。

**【請求項 12】**

請求項 1 に記載のドレープにおいて、前記接着剤層中に配置されたマイクロカプセルであって、接着剤軟化剤を含有するとともに、前記力に反応して破裂して前記接着剤軟化剤を放出するように構成される前記マイクロカプセルを更に含むことを特徴とするドレープ。

**【請求項 13】**

請求項 1 に記載のドレープにおいて、前記接着剤層中に配置されたマイクロカプセルであって、染料を含有するとともに、前記力に反応して破裂して前記染料を放出するように構成される前記マイクロカプセルを更に含むことを特徴とするドレープ。

**【請求項 14】**

請求項 11 乃至 13 の何れか 1 項に記載のドレープにおいて、前記マイクロカプセルが、合成ポリマー、アミノプラスト、天然ポリマー、およびゼラチンのうちの 1 つまたは複数からなる群から選択された材料から形成されることを特徴とするドレープ。

**【請求項 15】**

請求項 1 に記載のドレープにおいて、前記第 3 の接着強度が前記第 2 の接着強度の約 50 %であることを特徴とするドレープ。

**【請求項 16】**

請求項 1 に記載のドレープにおいて、  
前記第 3 の接着強度が前記第 2 の接着強度の約 50 %であり、かつ  
染料を封入した複数のマイクロカプセルが、前記接着剤層中に配置されるとともに、前記可視光スペクトル内の電磁放射線への曝露に反応して破裂するように構成されることを特徴とするドレープ。

**【請求項 17】**

請求項 1 に記載のドレープにおいて、  
前記第 3 の接着強度が前記第 2 の接着強度の約 50 %であり、かつ  
前記接着剤層が、前記電磁放射線への曝露に反応して蛍光を発するように構成される、ことを特徴とするドレープ。

**【請求項 18】**

請求項 1 に記載のドレープにおいて、前記可視光スペクトルが、約 430 ナノメートル～約 470 ナノメートルの波長を有する電磁放射線を含み、かつ 1 つまたは複数の感光剤

が前記接着剤層中に配置され、前記感光剤が、約430ナノメートル～約470ナノメートルの波長を有する電磁放射線に反応するように構成されることを特徴とするドレープ。

【請求項19】

請求項1に記載のドレープにおいて、前記接着剤層中に配置された1つまたは複数の感光剤を更に含み、前記1つまたは複数の感光剤が、カンファーキノンおよび5,7-ジヨード-3-ブトキシ-6-フルオロエンからなる群から選択されることを特徴とするドレープ。

【請求項20】

請求項1に記載のドレープにおいて、前記フィルム層がポリウレタンのフィルム層を含むことを特徴とするドレープ。

【請求項21】

請求項20に記載のドレープにおいて、前記フィルム層中に配置されたカルボキシメチルセルロース(CMC)を更に含むことを特徴とするドレープ。

【請求項22】

請求項21に記載のドレープにおいて、前記フィルム層が、液体を吸収するように構成されることを特徴とするドレープ。

【請求項23】

請求項1に記載のドレープにおいて、前記バリア層がポリウレタンのフィルム層を含むことを特徴とするドレープ。

【請求項24】

請求項1に記載のドレープにおいて、前記バリア層が黄色の色合いを有することを特徴とするドレープ。

【請求項25】

請求項1に記載のドレープにおいて、前記バリア層が、黄色の色合いを有するポリウレタンフィルムを含むことを特徴とするドレープ。

【請求項26】

請求項1に記載のドレープにおいて、前記バリア層が実質的に透明であることを特徴とするドレープ。

【請求項27】

請求項1に記載のドレープにおいて、前記バリア層が、黄色の色合いを有する実質的に透明なポリウレタンフィルムを含むことを特徴とするドレープ。

【請求項28】

請求項1に記載のドレープにおいて、前記バリア層中に配置された発色団を更に含むことを特徴とするドレープ。

【請求項29】

請求項1に記載のドレープにおいて、前記バリア層中に配置された電磁放射線吸収基を更に含むことを特徴とするドレープ。

【請求項30】

請求項1に記載のドレープにおいて、前記バリア層が、高通気性ポリマー、ポリウレタン、ポリアミド、ポリエーテルブロックアミド、エチレン-酢酸ビニル、ポリビニルアルコール、ヒドロキシアクリル、およびカルボキシアクリルのうちの1つまたは複数からなる群から選択された材料を含むことを特徴とするドレープ。

【請求項31】

請求項1に記載のドレープにおいて、前記フィルム層と反対側の前記接着剤層に剥離可能に結合された剥離層を更に備えることを特徴とするドレープ。

【請求項32】

請求項1に記載のドレープにおいて、前記フィルム層と反対側の前記バリア層に剥離可能に結合された支持層を更に備えることを特徴とするドレープ。

【請求項33】

請求項1に記載のドレープにおいて、

前記フィルタ層と反対側の前記接着剤層に剥離可能に結合された剥離層と、  
前記フィルタ層と反対側の前記バリア層に剥離可能に結合された支持層と、  
を備えることを特徴とするドレープ。

【請求項 3 4】

陰圧療法を提供するためのシステムにおいて、前記システムが、  
組織部位の上に位置決めされるように構成されたマニホールドと、  
前記マニホールドの上に位置決めされて、前記組織部位を取り囲む取付表面に封着されるように構成されたドレープであって、前記ドレープが、  
第 1 の側面と第 2 の側面とを有する裏当層と、

前記裏当層の前記第 1 の側面にコーティングされた取付層であって、前記ドレープの適用前の第 1 の接着強度と、前記ドレープに加えられた力に反応する第 2 の接着強度と、可視光スペクトル内の電磁放射線への前記取付層の曝露後の第 3 の接着強度とを有する前記取付層と、

前記裏当層の前記第 2 の側面に剥離可能に結合されるとともに、前記可視光スペクトル内の前記電磁放射線の少なくとも一部分を遮断するように構成されたフィルタ層と  
を備える、前記ドレープと、

前記マニホールドに流体的に結合されるように構成された陰圧源と  
を備えることを特徴とするシステム。

【請求項 3 5】

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記取付層がアクリル系接着剤を含むことを特徴とするシステム。

【請求項 3 6】

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記取付層がポリウレタン系接着剤を含むことを特徴とするシステム。

【請求項 3 7】

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記取付層が流動性接着剤を含むことを特徴とするシステム。

【請求項 3 8】

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記取付層が隙間充填接着剤を含むことを特徴とするシステム。

【請求項 3 9】

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記取付層が感圧接着剤を含むことを特徴とするシステム。

【請求項 4 0】

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記力が前記取付層の粘度および流れを変化させることを特徴とするシステム。

【請求項 4 1】

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記取付層中に配置された活性剤を更に含み、前記力に反応して、前記活性剤が、前記取付層を前記第 1 の接着強度から前記第 2 の接着強度に移行させるように構成されることを特徴とするシステム。

【請求項 4 2】

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記取付層中に配置された粘着付与剤を更に含むことを特徴とするシステム。

【請求項 4 3】

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記取付層中に配置された低表面張力添加剤を更に含むことを特徴とするシステム。

【請求項 4 4】

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記取付層中に配置されたマイクロカプセルであって、粘着付与剤を含有するとともに、前記力に反応して破裂して前記粘着付与剤を放出するように構成される前記マイクロカプセルを更に含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 4 5】**

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記取付層中に配置されたマイクロカプセルであって、接着剤軟化剤を含有するとともに、前記力に反応して破裂して前記接着剤軟化剤を放出するように構成される前記マイクロカプセルを更に含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 4 6】**

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記取付層中に配置されたマイクロカプセルであって、染料を含有するとともに、前記力に反応して破裂して前記染料を放出するように構成される前記マイクロカプセルを更に含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 4 7】**

請求項 4 4 乃至 4 6 の何れか 1 項に記載のシステムにおいて、前記マイクロカプセルが、合成ポリマー、アミノプラスト、天然ポリマー、およびゼラチンのうちの 1 つまたは複数からなる群から選択された材料から形成されることを特徴とするシステム。

**【請求項 4 8】**

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記第 3 の接着強度が前記第 2 の接着強度の約 50 %であることを特徴とするシステム。

**【請求項 4 9】**

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、  
前記第 3 の接着強度が前記第 2 の接着強度の約 50 %であり、かつ  
染料を封入した複数のマイクロカプセルが、前記取付層中に配置されるとともに、前記可視光スペクトル内の電磁放射線への曝露に反応して破裂するように構成されることを特徴とするシステム。

**【請求項 5 0】**

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、  
前記第 3 の接着強度が前記第 2 の接着強度の約 50 %であり、かつ  
前記取付層が、前記電磁放射線への曝露に反応して蛍光を発するように構成されることを特徴とするシステム。

**【請求項 5 1】**

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記可視光スペクトルが、約 430 ナノメートル～約 470 ナノメートルの波長を有する電磁放射線を含み、かつ 1 つまたは複数の感光剤が前記取付層中に配置され、前記感光剤が、約 430 ナノメートル～約 470 ナノメートルの波長を有する電磁放射線に反応するように構成されることを特徴とするシステム。

**【請求項 5 2】**

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記取付層中に配置された 1 つまたは複数の感光剤を更に含み、前記 1 つまたは複数の感光剤が、カンファーキノンおよび 5, 7 - ジヨード - 3 - ブトキシ - 6 - フルオロエンからなる群から選択されることを特徴とするシステム。

**【請求項 5 3】**

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記裏当層がポリウレタンの裏当層を含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 5 4】**

請求項 5 3 に記載のシステムにおいて、前記裏当層中に配置されたカルボキシメチルセルロース (CMC) を更に含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 5 5】**

請求項 5 4 に記載のシステムにおいて、前記裏当層が、液体を吸収するように構成されることを特徴とするシステム。

**【請求項 5 6】**

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記フィルタ層がポリウレタンの裏当層を含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 5 7】**

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記フィルタ層が黄色の色合いを有することを特徴とするシステム。

【請求項 5 8】

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記フィルタ層が、黄色の色合いを有するポリウレタンフィルムを含むことを特徴とするシステム。

【請求項 5 9】

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記フィルタ層が実質的に透明であることを特徴とするシステム。

【請求項 6 0】

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記フィルタ層が、黄色の色合いを有する実質的に透明なポリウレタンフィルムを含むことを特徴とするシステム。

【請求項 6 1】

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記フィルタ層中に配置された発色団を更に含むことを特徴とするシステム。

【請求項 6 2】

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記フィルタ層中に配置された電磁放射線吸収基を更に含むことを特徴とするシステム。

【請求項 6 3】

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記フィルタ層が、高通気性ポリマー、ポリウレタン、ポリアミド、ポリエーテルブロックアミド、エチレン - 酢酸ビニル、ポリビニルアルコール、ヒドロキシアクリル、およびカルボキシアクリルのうちの 1 つまたは複数からなる群から選択された材料を含むことを特徴とするシステム。

【請求項 6 4】

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記裏当層と反対側の前記取付層に剥離可能に結合された剥離層を更に備えることを特徴とするシステム。

【請求項 6 5】

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、前記裏当層と反対側の前記フィルタ層に剥離可能に結合された支持層を更に備えることを特徴とするシステム。

【請求項 6 6】

請求項 3 4 に記載のシステムにおいて、  
前記裏当層と反対側の前記取付層に剥離可能に結合された剥離層と、  
前記裏当層と反対側の前記フィルタ層に剥離可能に結合された支持層と  
を更に備えることを特徴とするシステム。